

広報たしろ

No. 318

昭和55年3月号

田代町総務課編集

1,600部発行



緑を求めて

きびしかった寒さもようやくやわらいで、桜前線の動きも気になるころになりました。

わたしたちの町は、清流と緑豊かな自然に恵まれ、手ごろなレクリエーションの場が多いところです。

いかがですか

あなたも、家族づれや友達同志でおでかけになりませんか。

自然は大切に



(荒西山登山

道入口と全景)

四月三日

花瀬公園まつり

●特集 目で見る“こども白書”●

子供たちは、いま……

54年版「青少年白書」から



子供を語る

子供の生活環境としては、家庭と学校、社会の三つをあげることが出来ますが、いま一番問題なのは、やはり家庭での親のあり方でしょうね。

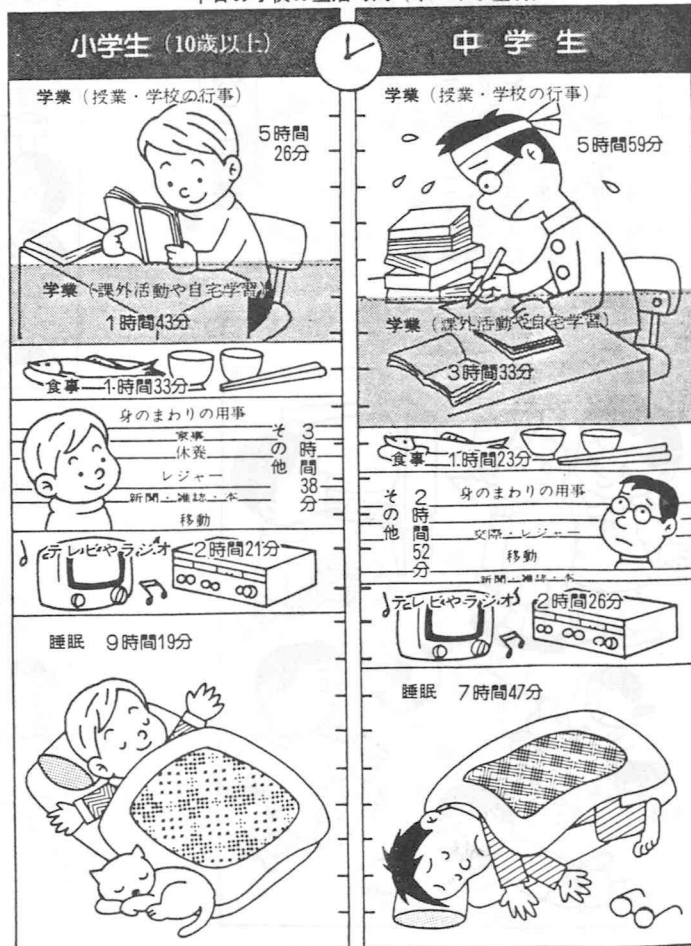
高度経済成長の過程で、親の意識が、とかく物質的な充足に向けられ、その反面、子供が疎

新学期が近づきました。子供たちにとっては、進級・進学に胸おどらせる季節です。ところで、いま子供たちは何を考え、どんな遊びをし、どのような将来の夢を描いて日常生活を送っているのでしょうか。

わたしは親の一人ひとり、子供たちの「心の風景」を常に的確につかんでいる——このことが子供の健全な成長に大きなプラスになることはいうまでもありません。

五十四年版「青少年白書」から「現代の子供像」を浮き彫りにしました。

平日の子供の生活時間（小・中学生別）



親の本当の愛情を求めている

外されていったということがいえると思います。

ひとつの例をあげますと、夫婦共働きでがんばる、それはそれでいいのですが、ふだん子供をかばってやれないという引け目、ついつい小遣いの額を増やしたり、物を買ってやったり

井村 和朗 一つにはこうした親子関係のもとでは、子供は社会とのつながりを持ち得ないからだと思います。

子供の社会性は、家庭の中で

の親子の交流や友だちとのつきあいの中で身につけていきます。お母さん方は神経質になりすぎて、ハレものに触れるように子供と接する——これでは逆効果です。じっくり話し合う親子の会話が、もっとも必要です。それと同時に、お父さん、しっかりといいたいですね。

「弱い父親」は、子供によい影響を与えません。

農業をもっと大事に

「煮しめは世界一の味」
振興大会終る



町振興大会は、去る二月二十六日、開発センターで開催され、あいにくの雨でしたが、会場は多数の町民参加で盛会に終りました。

講師、鹿児島県立青少年研修センター参事、黒木正彦先生の「ふるさとづくり」という講演で、農業をもっと大事に考え、

認識を深め、魅力あるふるさとづくりを築き、また、煮しめは世界一の食糧であるなど食生活改善まで、貴重な体験を講演されました。

当日は、いちご販売、農機具の展示なども行われました。

なお、本年度の各種部門で表彰された方は次のとおりです。

黒木正彦先生

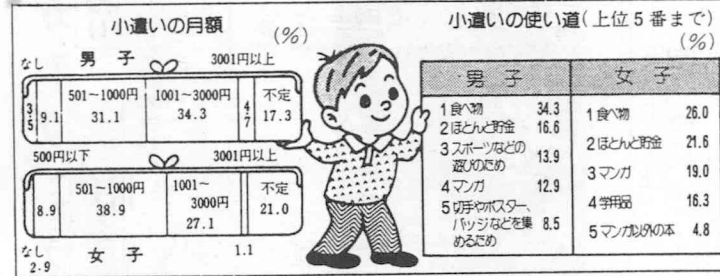
昭和54年度項目別褒賞一覧表

項目	部	類	該当者及該当部位			
功労賞	教育	文化	名ヶ迫 広			
	社会	福祉	故 濱畑好伸 山野三蔵			
	産業	経済	該当者なし			
	地方	自治	辺志切 早 上八重勇吉 小牧親典 中村一夫			
奨励賞	納税の部	団体	下、馬場、東ノ原、東中郡、橋ノ口、中村、山下、岩崎、折小野、重岳、鶴戸野、久木野、柴立、上原、原沢、池野、猪鹿倉、郷ノ原			
		個人				
	葉たばこ	10a当販売額	1	近 川 幸 一	2	鳥 淵 貢
		総販売額	1	早 瀬 辰 二	2	白 桃 勇
	緑茶	10a当販売額	1	松ノ下 和 馬	2	松ノ下 勉
		総販売額	1	田 畑 一 男	2	松ノ下 和 馬
	養蚕	10a当販売額	1	尾ノ後 章	2	折小野 静 美
		総販売額	1	折小野 静 美	2	田 尻 実 義
	畜産	肉用牛生産 (年間4頭以上)	古里光夫 山口計佐吉 前之園敬一郎 大垣厚志 上吹越清香 早瀬益男 郷原盛雄 小路 亨 時吉秀夫 久保政夫 白桃 進 猪鹿倉 悟 水流五三 元丸照彦 鳥淵治利			
		肉用牛5連産	折小野 満次			
		肉用牛10産	麦生田次男 舞原勇助 舞原正成 金子 貢 宮元栄二			
		肉用牛年間最高総販売額	前之園 敬一郎			
	農産加工部	プロイラー生産最高販売額	橋 口 照 夫			
		緑茶加工業者	坂 口 製茶工場			
賞	森林保育		個人	該当者なし		
			団体	該当なし		

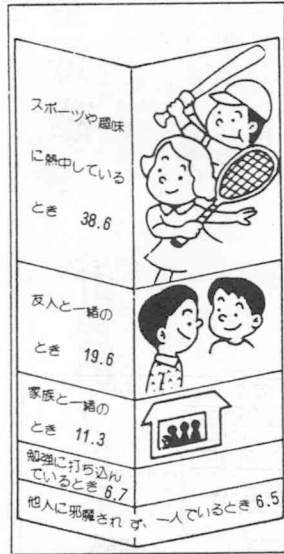
●特集 目で見る「こども白書」●

遊びと消費

子供の小遣いの額と使い道 (小学5、6年生)



生きがいを感じる時 (中学生) 上位5番まで (%)



生きがい

生きがいを感じる...六割 中学生では約六割近くが生きがいを感じている。男

ものの見方と将来への希望



将来の暮らし方

男女とも「趣味にあった暮らし」がトップで、それぞれ約3割を占めている。男女差の大きいものをあげると「いい人と結婚して楽しく暮らす」は女子が男子の約3.5倍も多いのに対し、「金持ちになりたい」は男子の方が多く、女子の約2倍となっている。

友人

男子「6人以上」女子「2〜3人」

「非常に仲のよい友人」の数では「6人以上」が男子に多く、女子は「2〜3人」が最も多い。また、男子は「非常に仲のよい友人」が何人いるか、女子は「2〜3人」が最も多い。

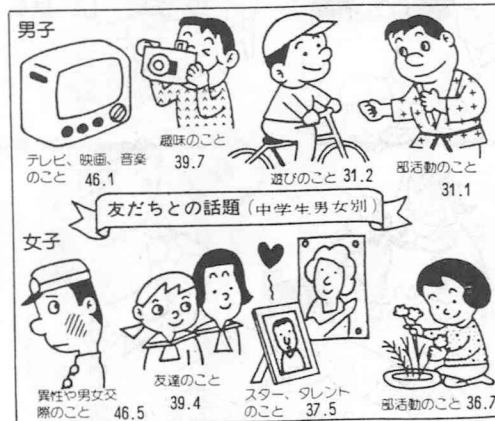


友だちと人間関係

話題

余暇 (男子) と 他人のこと (女子) がトップ

全体的な傾向として、男子は「余暇」に関する話題が大きなウェートを占めるのに対し、女子の場合は、「他人」についてのおしゃべりが多いのが特徴。話題のトップは男子が「テレビ、映画、音楽」で、女子は「異性、男女交際」。「社会の出来事」は、ほとんど話題にのぼらないようだ。



3肢選択 上位4番まで (%)

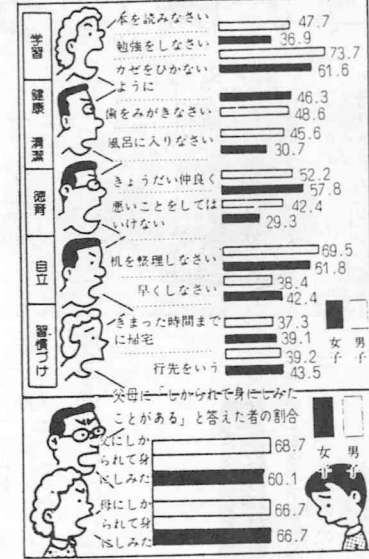
●特集 目で見る「こども白書」●

親との触れ合い 親の関心の薄さに不満も 小学生では、親がもっと自分に関心を持って欲しいとする者は少ないが、中学生になると、男女とも親の関心の薄さを感じる者の割合が10%を超え、かなり多くなる。



家庭

しつけに関すること (小学5、6年生) 単位%



しつけ

六割以上が「しかられて身にしみた」

子供は、親のしつけによって、家庭や社会のきまりを身に付けていく。親からのしつけや注意は、女子より男子の方がよく受けており、また、六〜七割が親に「しかられて身にしみた」と率直に反省している。

楽しいとき

男女とも「テレビ」と「友人」

男女とも一人一人は「テレビ」と「友人」をあげている。男女差の大きいのは「スポーツ」で、男子は二人に一人が楽しいとしているのに対し、女子は四人に一人にとどまっている。また、小学生に比べて中学生に目立って多いのは「音楽や趣味」「一人であるとき」。

遊びと消費

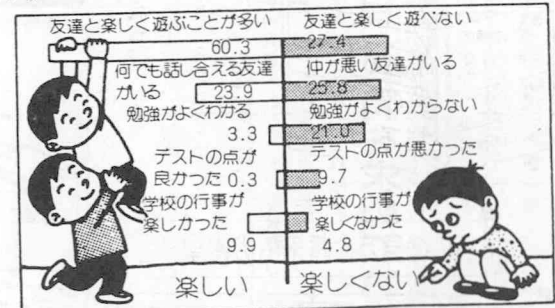
子供の楽しいとき (小学5、6年生)



学校生活

楽しさは友人関係に

小・中学生とも、友だちとの交際に学校生活の楽しさを感じている者が多い。



学習

勉強の目的 (中学生全体) 単位%



勉強の目的

高学年に多い「なんとなく...」

カーブミラーを町に四基寄贈

鹿児島県共済農業協同組合連合会は、昭和54年度自賠責調整準備金より、各市町村に対しカーブミラーを寄贈することを決め、このほど本町にも、なんぐ



(山下のカーブミラー)

このカーブミラーは、地域の交通事故の未然防止や、交通安全思想の普及徹底を図る趣旨のもとに設置されるものです。また、交通危険箇所を優先して設置してありますが、住民の交通事故に対する関心を高め、お互いの注意を計りましょう。

人口のうごき		
基本台帳人口		前月との増減
55年2月1日現在		
男	2,232	△ 1
女	2,465	17
計	4,697	16
世帯数	1,487	5

戸籍に関する情報は
ホームページ上では
掲載していません

昭和55年度農作業標準賃金

1日当りの農作業賃金		男3,400円 女2,600円
水田賃耕料金	耕起(10a当り)	6,000円 (水田車輪使用の場合1,000円増)
	整地(10a当り)	6,000円
	田植機料金(10a当り)	5,500円
	稲刈機料金(10a当り)	6,600円
畑作賃耕料金	脱穀料金・米・麦(1俵当り)	550円
	整地(10a当り)	5,200円
ワラ料金		ひとしめ 550円

即時通話が可能

農村集団電話を一般電話に

昭和四十二年から四十三年にかけて、農村集団電話を開設しましたが、いっこうにつながらないという苦情が多く、早く一般電話に切り替えてほしいという要望が強かったが、大根占電報電話局は、昨年からの工事に着手し、このほど工事が完成、二月二十七日の午後二時から一般電話に切り替わりました。



これで、本町の電話は、公衆も含めて千三百八十五台となり普及率九四％になりました。

教育だより

県学校、造林コンクールで受賞

田代中

昨年、このコンクールに応募し、十月下旬と十一月月上旬の二回にわたり、荒西山の本校学林地で、郡および県の審査員による審査がおこなわれた結果、優良賞を授けられるという荣誉に輝いた。毎年夏に実施されるPTAの奉仕作業の成果がこのような結果をもたらしたものと喜びをまたひとしおである。

審査員の感想

十五ヘクタールという面積はともかく、県内でも珍らしいが、植林してから三十年近く経過しているのには、成育が

「三つのいっばい」運動 大原小

一、笑顔がいっばい

健康は暮らしの土台である。明るい笑顔は、まず、ひとりひとりの健康が維持されてこそ、生まれるものである。

自主活動、自主マラソン、薄着運動を奨励し、これが定着したこの頃、学校を欠席する子どもが急減している。どの子どもも健康だから、常に明るい笑顔がいっばいである。

二、花がいっばい

学校内を花いっぱい、これも大原小の特色である。自然に眼をむけさせ、美しいものに感動する心や自然に対する驚きを見つけさせる。それは環境美化以上に、心の美化や豊かな気持ちを醸成していつている。花いっぱいとはまた、「花と友だち、みんなにあいさつしよう。」の運動として、大きな輪を広げた。

三、活気がいっばい

次に、児童の手による集団諸

校内持久走大会

田代小

一月十九日に校内持久走大会がおこなわれました。寒さに負けず、毎朝練習に励んできました。当日は役場前スタート、一年は一〇〇〇米、二



年は二二〇〇米、三年一五〇〇米、四年二二〇〇米、五六女は二五〇〇米、五六年男三〇〇〇米でした。みんながんばって新記録が六もできました。一位の名前は左のとおりです。

一年男 山下一実、一年女 南洋子、二年男平石勝洋(新)

就職受験報告会

田代高

三年生、七十八名、殆んどが希望する会社、上級学校に合格しました。合格するまでの心構えや受験した貴重な体験を、後輩の一、二年生に発表し、進路に対する自覚を促すために、男子二名(京都セラミック国分工場、神奈川県警察官、内定)女子三名(東京都民銀行、クノール食品、警視庁婦人警官、内定の五名が発表しました。

発表内容を要約すると、一、進路希望を早く決めて、コツコツと努力すること。二、成績も良く人間性も良い人が好ましいが、特に人間性が重視される。そのため、どこでも面接試験に力を入れている。三、協調性と行動力、粘り強さという面で部活動をしている生徒を企業はほしがっている。

※勉強や、部、クラブ等を一生懸命やって、まず悔いのない高校生活をしてほしい。それが結果として、

二年女 小國利江、三年男子 南昌成、三年女 福元みどり、四年男 平石薫、四年女 猪鹿倉ゆかり(新)、五年男 猪鹿倉勝博、五年女子 平原久子、六年男子 鳥淵和久、六年女子 宮園さとみ(新)

業間体育

大原中

本校の業間体育も今年で四年目を迎えます。

発足当時、「根気がなかったり、風邪などにかかりやすい生徒には体力を……、けじめのない生徒には生活のリズムを……」と話し合った今和泉校長と中村体育主任のささやきは今でも立派に息づいています。

夏季にはラジオ体操を実施していますが、これは体力向上や技能の上達よりも、学習の合間に於ける気分転換をねらいとしています。

冬期にはめぐまれた地の利を生かし、全校ランニング、階段あり、坂道あり、一周三〇〇Mコースすいすいと、かるやかに走る生徒の姿には、あこがれをいだき背を丸め、コロコロとかけ足する職員もみられます。

これからは、高血圧や老化防止のため、持久力を養うため、気分転換のため、体力向上のため、大原中の業間体育は大いに貢献してくれることでしょう。

※郵政省認定アマチュア無線技士養成課程講習会(電話級標準コースのお知らせ)

一、主催 日本アマチュア無線連盟

二、受講資格 だれでも受講できます

三、受講料 一万円

四、場所 県立南大隅高等学校

五、日程(予定) 五月十日(六月二十二日)(毎土・日曜日)

六、時間 土曜日 十八時三十分～二十時四十五分
日曜日 九時～十六時三十分

七、問合せ先 平石 主計
TEL 二二二六

第六回オリエンテーリング大会開く



親地図を子地図に写す参加者

第六回田代町徒歩オリエンテーリング大会が大原小学校を中心とする約五キロメートルのコースで行われた。

当日は春を思わせるような好天に恵まれ、小学生三〇チーム百十八名、中学生九チーム三十四名、家族六チーム二十二名の参加を得て盛大な会となった。

第一ポイントの発見がむつかしかったとみえてウロウロするチームやポイントをぬかして次のポイントへ行くチーム、コンパスを反対に使ってとんでもな

社会教育諸学級・教室終了

本年度教育委員会が主催した社会教育諸学級・教室がおおむね終了した。

本年度は麓・川原婦人学級、大原婦人学級、麓・川原の各高齢者学級さらに青年教室等を開講し、スポーツ関係では麓・川原地区と大原地区の婦人バレーボール教室、バドミントン教室卓球教室等を開設した。

いずれの学級・教室とも好評で多数の参加者を得た。

来年度も今年のような学級・教室の開設を予定していますので、町民多数の参加をお待ちしております。



麓・川原婦人学級お別れ昼食会

学級・教室生の皆さんでくろうさんでした。

い方向へ行くチーム、さらには時間切れで失格するチームなどあったようである。クラス別の入賞チームは、次のとおりでした。

小学校クラス

- 一位 大原孝志チーム
- 二位 赤池芳広チーム
- 三位 山田道代チーム

中学校クラス

- 一位 高橋勇二チーム
- 二位 山田吉夫チーム
- 三位 川路清美チーム

家族クラス

- 一位 藤崎弘子チーム
- 二位 原田幸男チーム
- 三位 有馬純照チーム

郡青年駅伝四位

肝属郡青年団連絡協議会主催の第十二回青年駅伝大会は二月三日田代町役場前から東串良町役場前まで五十二キロメートル十三区間（女子一区間を含む）によって実施された。

この大会では、過去田代町は上位争いを演じてきたが、昨年五位の成績で今年こそはとほり切って参加した。

今年の田代町選手は十三人中七人が新人で経験不足を危ぶむ声もあったが、新人が好走し四位を確保した。結果的にはもう一步と思われるので来年の活やくに期待したい。

田代町教育研究会開く

第十八回田代町教育研究会が一月三十一日午後から大原中学校を会場として開催された。

稲尾岳の頂上はうすすらと雪化粧をして、大原でも珍らしい寒い日であったが、町内の先生方が一堂に集まり教科部会や教科外部会で熱心な研究討議がなされた。



与論町よりの蘇鉄（先月号記載）田代町武道場の庭に完成

なお、本町の弓指キヨ子選手は区間賞を獲得した。

選手の皆さん、ごくろうさんでした。成績は次のとおり。

- 一位 大根占
- 二位 根占
- 三位 東串良
- 四位 田代
- 五位 佐多

進めよう・緑のふるさとづくり

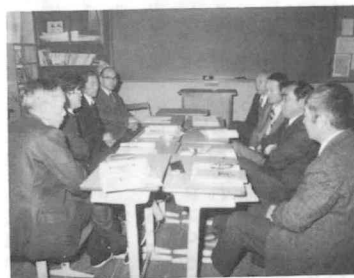
緑の月間二月二〇日～四月二〇日



青年駅伝中継点（12区）

- 六位 吾平
- 七位 串良
- オープン参加 高山

全体会では町長、教育長のあいさつのあと、教育工学研修中央セミナーに参加された先生方の研修報告や、本町が五十五年度まで継続で研究に取り組んでいる生徒指導の研究報告等があり、盛会のうちに終了した。



部会での研究討議